

施策名：高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築

事業名	担当課・室名	ページ
いきいき高齢者地域活動推進事業	高齢者福祉課	1 / 4
地域包括ケアシステム構築推進事業	高齢者福祉課	1 / 4
在宅高齢者住宅改造助成事業	高齢者福祉課	1 / 4
老人福祉施設整備事業	高齢者福祉課	2 / 4
介護サービス基盤整備事業	高齢者福祉課	2 / 4
介護現場革新推進事業	高齢者福祉課	2 / 4
福祉・介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	3 / 4
介護の魅力発信事業	高齢者福祉課	3 / 4
外国人介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	3 / 4
若年性認知症相談支援体制整備事業	高齢者福祉課	4 / 4
認知症にやさしい地域創出事業	高齢者福祉課	4 / 4

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-2-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
1	いきいき高齢者地域活動推進事業 (H26～) 高齢者福祉課 元気な高齢者の社会参加を促進することにより健康寿命の延伸を図るため、健康づくりや地域貢献活動へ参加を促す講座を開催するほか、地域で行う健康寿命延伸や生きがづくり等に資する活動に要する経費等を助成する。	①パワフルシニア活動応援事業 地域の高齢者団体が行う健康寿命延伸や生きがづくり等に資する活動への助成（補助率10/10） ・事業立上げ支援（41件） ②市町村老人クラブ連合会体制強化促進事業 市町村老人クラブ連合会の活動推進員設置を支援する市町村への助成（補助率2/3、13市町） ③おおいたアクティブシニア養成講座開催事業 元気な高齢者が地域を支える担い手となるための講座を開催（8回、36人） ④ふるさとの達人活動支援事業 豊かな知識や技能を活かし地域活動を行う人材の掘り起こし・登録・派遣	① 11,722 ③ 1,448 ② 8,040 ④ 1,200	パワフルシニア活動参加者数 目標値 825 実績値 1,041 達成率 126.2%	825	825	825	A	
			主な活動指標と達成率 おおいたアクティブシニア養成講座受講者数 目標値 50 実績値 36 達成率 72.0% [人]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 おおいたアクティブシニア養成講座の開催により、地域を支える担い手となるために必要な知識や実践力が養われた。また、パワフルシニア活動応援事業により、高齢者の健康寿命延伸や生きがづくりのための活動の促進につながった。今後は、活動参加者数を増加させるため、事業の周知の場を増やし、補助団体の好事例に関する情報発信を行うなど、更なる高齢者の活発な地域活動の促進に取り組む。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 22,716 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 22,410 (11,322)	ふるさとの達人登録者数 目標値 643 実績値 510 達成率 79.3% [人]					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
2	地域包括ケアシステム構築推進事業 (H26～) 高齢者福祉課 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを構築するため、地域ケア会議の充実・強化や人材育成等に取り組む。	①地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成 ・地域ケア会議アドバイザー強化研修の実施（延べ1,329人） ・地域包括ケア推進に係る人材育成研修の実施（620人） ②地域ケア会議の充実・強化 地域ケア会議への広域支援員派遣（29回）及びスーパーバイザーの派遣（40回） ③生活支援サービスの充実 生活支援における市町村の課題解決のため、スーパーバイザーを派遣（30回） ④医療・介護連携の推進 ・在宅医療・介護連携推進部会の開催（2回） ・在宅医療・介護連携全体研修の実施（54人）	① 10,883 ③ 2,804 ② 3,250 ④ 377	地域ケア会議で明らかになった地域課題に対応している市町村数 目標値 18 実績値 17 達成率 94.4%	18	18	—	A	
			主な活動指標と達成率 在宅医療・介護連携全体研修会受講者数 目標値 200 実績値 54 達成率 27.0% [人]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 地域ケア会議を中心とした市町村の課題解決に向けた取組に対し、スーパーバイザーの派遣等による伴走型支援等を実施し、地域ケア会議で明らかになった地域課題に対応している市町村数の目標値を達成した。 (※)令和6年度の成果指標及び目標値 介護保険保険者努力支援交付金評価指標（市町村分）において、目標I及び目標IIIの合計得点率が75%（150/200点）以上の市町村数 14[市町村]				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 19,279 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 17,314 (14,486)	地域ケア会議スーパーバイザー派遣市町村数 目標値 6 実績値 4 達成率 66.7% [市町村]					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
3	在宅高齢者住宅改造助成事業 (H6～) 高齢者福祉課 高齢者が安全・安心に在宅での生活を続けていくため、住宅設備を在宅高齢者に適するように改造する経費の一部を助成する。	①在宅高齢者住宅改造助成 (補助率：生活保護世帯10/10、その他の世帯2/3) ・一般住宅改造助成事業 住宅設備を在宅高齢者に適するように改造する工事の経費を助成（75件・16市町） ・自立支援に資する小規模改造助成事業 手すりの取付けなど、早期に自立支援が可能な小規模工事の経費を助成（40件・17市町村）	① 14,355 ③ ② ④	助成交付件数 目標値 107 実績値 108 達成率 100.9%	107	107	107	A	
			主な活動指標と達成率 助成を実施した市町村数 目標値 17 実績値 17 達成率 100.0% [市町村]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 住宅改造に要する経費の一部を市町村に助成することで、在宅高齢者の寝たきり防止や介護者の負担軽減を図ることができた。今後も、高齢者が安全で、安心して在宅生活を送ることができるよう、市町村と連携して取り組んでいく。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 15,169 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 14,355 (0)	目標値 実績値 達成率					

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-2-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針															
4	老人福祉施設整備事業 (S43 ~) 高齢者福祉課 「おおいた高齢者いきいきプラン」に基づき、社会福祉法人等が行う老人福祉施設等の整備に要する経費に対し助成を行い、高齢者に対する施設福祉サービスの充実を図る。	①老人福祉施設整備に対する経費助成 定員30人以上の特別養護老人ホームの改築工事費への助成（補助率10/10、1件）	特別養護老人ホームの改築整備に要する経費に対し助成することで、居室の個室化など高齢者の住環境の改善を図ることができた。 今後も、高齢者に対する施設福祉サービスの充実を図るために、老人福祉施設等の整備を推進していく。															
		【老人福祉施設整備事業】 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームの整備床数（合計） 単位：床																
	予算額 (うち翌年度繰越額) 52,440 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 52,440 (0)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>8,051</td> <td>8,051</td> <td>8,014</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7,985</td> <td>8,014</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>99.2%</td> <td>99.5%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	8,051	8,051	8,014	実績値	7,985	8,014	-	達成率	99.2%	99.5%	-
	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
目標値	8,051	8,051	8,014															
実績値	7,985	8,014	-															
達成率	99.2%	99.5%	-															

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針														
5	介護サービス基盤整備事業 (H27 ~) 高齢者福祉課 地域包括ケアシステムを推進するため、介護予防拠点や小規模（定員29名以下）介護施設の整備など、地域の実情に応じた介護サービスの提供体制を整備する。	①地域密着型施設等の整備に対する経費助成 小規模（定員29人以下）施設等の創設や増設等の工事経費への助成（補助率10/10、11件）	地域密着型サービス等の整備に要する経費の一部を市町村に助成することで、地域の実情に応じた介護サービスの提供体制を推進することができた。また、介護サービス事業所内の簡易陰圧装置や家族面会室の整備等に係る経費へ助成することで、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を推進することができた。 今後も介護予防拠点や小規模な介護施設の整備等に対する支援を通じて、地域包括ケアシステムを推進していく。														
		②新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に対する経費助成 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、簡易陰圧装置や家族面会室の整備等に係る経費への助成（補助率10/10、14件）															
	③介護ロボット・ICTの導入に対する経費助成 大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に係る経費への助成（補助率10/10、2件）																
	地域密着型サービス利用者数（累計） 単位：人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>68,916</td> <td>72,048</td> <td>68,644</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>65,816</td> <td>65,526</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>95.5%</td> <td>90.9%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	68,916	72,048	68,644	実績値	65,816	65,526	-	達成率	95.5%	90.9%
達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
目標値	68,916	72,048	68,644														
実績値	65,816	65,526	-														
達成率	95.5%	90.9%	-														
	予算額 (うち翌年度繰越額) 727,308 (36,600) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 685,234 (193,019) (0)																

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 各 々 の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
6	介護現場革新推進事業 (R4 ~) 高齢者福祉課 介護従事者の負担を軽減し離職防止を図るため、ICT化やノーリフティングケア（抱え上げない介護）等により、働きやすい職場環境の整備を行う事業所を支援する。	①介護ロボット導入支援事業 介護職員の負担軽減を図る介護ロボット導入への助成（補助率3/4・1/2、664台） ②介護サービス事業所ICT導入補助 介護現場において書類作成業務等の効率化を行うICT機器導入への助成（補助率3/4・1/2、60件） ③ノーリフティングケア普及促進事業 ・ノーリフティングケアマネジメント研修（1回） ・ノーリフティングケア指導者養成研修（2回） ・ノーリフティングケア先進施設研修（4回） ・ノーリフティングケア用福祉機器導入への助成（補助率3/4・1/2、43件） ④介護DXアドバイザー設置事業 ・モデル事業所育成のための伴走支援（4施設）	① 103,627 ③ 15,925	業務負担軽減を実感した介護職員の割合 [%]	目標値	50.0	50.0	50.0	B
			② 79,521 ④ 8,372		実績値	63.4	45.0	-	
			主 な 活 動 指 標 と 達 成 率	達成率 126.8% 90.0%	-				
		予算額 (うち翌年度繰越額) 337,521 (129,852) 決算額 (うち国庫支出金) 207,445 (146,518)	介護ロボットの導入台数 目標値 60 実績値 664 達成率 1,106.7% [台]	指導者養成研修参加施設数 目標値 40 実績値 30 達成率 75.0% [箇所]	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 介護ロボット・ICT機器の導入やノーリフティングケアの推進により、介護従事者の業務効率化や身体的・精神的な負担軽減を図ることができた。また、介護DXアドバイザーを増員し支援体制を強化したことで、相談対応や伴走支援をより多くの事業所へ実施することができた。令和6年度からノーリフティングケアに係る助成対象機器に「入浴支援機器」を追加し、入浴介助における身体的負担の更なる軽減に取り組む。 今後も、介護従事者の負担軽減や働きやすい職場環境の整備を支援し、離職防止・定着促進に取り組んでいく。				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-2-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
7	福祉・介護人材確保対策事業 (H21 ~) 高齢者福祉課 福祉・介護人材を確保するため、参入促進や離職防止、生産性向上等に取り組む。	①介護福祉士等修学資金等の貸付(補助率10/10) ・介護福祉士修学資金貸付事業(65件) ・福祉系高校修学資金貸付事業(6件) ②福祉・介護人材のマッチング機能強化、参入促進 ・福祉人材センターにキャリア支援専門員を3名配置し、求職者への支援や就職フェア等を実施 ・社会福祉施設等での職場体験研修を実施(38人) ・介護の仕事入門セミナーの実施(4回)	① 59,309 ③	介護人材就職者数 目標値 48 実績値 136 達成率 283.3%	48	60	72	A	
			② 15,861 ④		達成率	136	218.3%		—
			③ 50 ④ 51 ⑤ 100 ⑥ 25 ⑦ 25.0%		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 就職フェアの開催、高校や大学等への出前講座及び介護分野への就労のきっかけとなるようなセミナー等を実施し、福祉・介護現場への就職に結びつけることができた。 今後は、初任者研修補助の活用促進、介護補助職の導入支援及び市町村との連携を強化し、県全体で介護人材確保に努める。				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 88,638 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 81,043 (44,280)		介護入門者研修受講人数 初任者研修資格取得助成人数						
			[人] 50 [人] 51 [人] 100 [人] 25 [人] 25.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
8	介護の魅力発信事業 (R2 ~ R7) 高齢者福祉課 介護人材の新規参入を促進するため、若年層を対象とした介護の魅力を発信する取組を実施する。	①介護事業者の認証評価制度の導入 人材育成等に取り組む事業者を評価する制度を運営 ②若年層をターゲットとした魅力発信事業 ・体験型イベントの開催(1回) ・介護職トーク会の開催(1回) ③若手介護職員交流促進研修会 離職率の高い経験年数3年未満の若手介護職員の交流研修会の開催(2回)	① 14,465 ③ 2,079	県内有効求人倍率(介護関係職種) 目標値 2.11 実績値 2.80 達成率 67.3%	2.11	2.00	—	D	
			② 4,045 ④ 1,373		達成率	2.80	45.0%		—
			⑤ 1,700 ⑥ 1,705 ⑦ 100.3%		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 他産業においても生産年齢人口の減少による人手不足が進んでいることもあり、介護分野の県内有効求人倍率は全国平均よりは低いものの、昨年度よりも0.3ポイント上昇した。認証評価制度の取得拡大による魅力発信の推進や外国人材の受入増加等介護人材確保につなげていく。 現指標は、社会情勢や時期等外的要因に左右され事業の成果に直結するとは限らないため指標を変更する。処遇改善、人材育成などの認証基準を満たす法人を増やし、介護職への新規参入を促進する。 (※) 令和6年度の成果指標及び目標値 ぶくぶく認証取得法人数 20[法人]				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 23,014 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 22,166 (0)		④介護情報発信Webサイトの運営 県の施策やイベント・研修の案内、事業所等の情報を発信						
			[人] 1,700 [人] 1,705 [人] 100.3% [人] 20 [人] 18 [人] 90.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
9	外国人介護人材確保対策事業 (R1 ~) 高齢者福祉課 高齢化の進展等による福祉・介護ニーズの増大に伴う介護人材不足に対応するため、外国人介護人材が円滑に就労・定着できるよう、受入体制の整備等に取り組む。	①受入環境整備や外国人介護人材向け研修の実施 ・外国人介護人材を対象とした集合研修(11回) ・受入施設へのアドバイザー派遣 ・外国人介護人材受入のための環境整備への助成(2件) ・外国人介護人材の新規雇用に要する経費への助成(19件) ②外国人介護人材と受入事業所のマッチング支援 ・就労希望者に対する情報提供の実施 ・受入希望介護施設と外国人介護人材とのマッチング ・外国人留学生への奨学金等支給(13人) ③受入体制の構築に向けた協議会や研修会の実施 ・外国人介護人材受入推進協議会の実施 ・受入研修会の実施(1回) ・受入事例集によるノウハウの提供	① 10,285 ③ 1,437	外国人介護人材受入者数 目標値 16 実績値 37 達成率 231.3%	16	16	16	A	
			② 9,153 ④		達成率	37	118.8%		—
			⑤ 30 ⑥ 23 ⑦ 76.7%		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 人材不足を背景に、外国人介護人材の雇用が増加傾向にあり、各種研修会や補助金の活用が進んだほか、外国人留学生のマッチング支援も実施できた。また、送出国を訪問し、県内への受入について相互の理解を図った。 今後は、雇用インセンティブ補助金の拡充による介護事業者への支援、外国人介護人材の離職防止・長期定着のための支援として介護福祉士国家試験対策などの充実を図る。				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 24,439 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 23,049 (2,391)		受入研修会参加事業所数 集合研修等受講者数						
			[事業所] 30 [人] 23 [人] 76.7% [人] 40 [人] 72 [人] 180.0%						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-2-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
10	若年性認知症相談支援体制整備事業 (H28～) 高齢者福祉課 若年性認知症の人の状態に合わせた適切な支援を提供するため、支援コーディネーターによる医療・福祉・就労の総合的な相談支援体制を整備する。	①若年性認知症相談支援コーディネーター設置事業 本人やその家族からの若年性認知症に関する相談に対して、解決に向けた支援を行うコーディネーターを配置(2名) ②若年性認知症相談支援研修会 若年性認知症支援用ガイドブック活用研修会の開催(1回) ③若年性認知症自立支援ネットワーク会議 医療、介護、雇用等各分野の関係機関からなるネットワーク会議の作業部会を開催(1回)	① 5,563 ③ 21	若年性認知症支援コーディネーターが相談後に連携した機関数 [機関]	目標値	140	120	140	A
			② 41 ④		実績値	153	143	—	
			主な活動指標と達成率		達成率	109.3%	119.2%	—	
			若年性認知症支援コーディネーターの相談対応件数 [件]	目標値 680 実績値 615 達成率 90.4%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 若年性認知症の人の生きがいや居場所の確保に重点を置き、支援に取り組んだ結果、関係機関と連携して一般就労や就労継続につながった事例も増加した。また、認知症ウェブサイト等を通じた周知活動の強化により、若年性認知症支援コーディネーターが支援した実人員は令和5年度には230人を超えた。相談件数の増加に対応するため、令和5年度に若年性認知症支援コーディネーターを1名増員した。 今後はさらなる普及啓発や受入事務所の拡大に取り組む。				
			若年性認知症自立支援ネットワーク会議の参加機関・団体数 [機関]	目標値 27 実績値 23 達成率 85.2%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 6,428 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 5,821 (3,154)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
11	認知症にやさしい地域創出事業 (H30～) 高齢者福祉課 認知症の人やその家族が安心して地域で暮らせる環境を整えるため、認知症本人による情報発信等を支援する体制づくりや患者・家族の相談体制の強化等に取り組む。	①認知症本人による情報発信等を支援する体制づくり ・おおいた認知症フォーラムの開催 ・ピアサポート活動の支援 ②認知症予防推進事業 ・産学官で構成される大分県認知症ヘルスケア研究協議会が実施する研究の費用の一部を負担(負担率1/6) ・認知症予防研修会の開催(1回) ③認知症アセスメント力向上事業 認知症アセスメント力向上研修会の開催(4回) ④家族支援強化・認知症サポーター活動促進 ・家族介護者同士が意見交換等を行う交流会の開催(4回) ・チームオレンジの設置に向けた研修の実施(コーディネーター研修1回)	① 5,810 ③ 138	ピアサポーター登録者数 [人]	目標値	18	22	25	A
			② 1,106 ④ 66		実績値	20	24	—	
			主な活動指標と達成率		達成率	111.1%	109.1%	—	
			ピアサポーター養成研修実施回数 [回]	目標値 1 実績値 2 達成率 200.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和2年度末に創設した認知症となった人が就任する「大分県希望大使」4名のうち1名が「全国版希望大使」に就任し、認知症の人が発信する機会が増えたことで、市町村での本人ミーティングの取組が広がる等、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制の構築につながった。 一方、令和7年度までの全市町村でのチームオレンジ構築に向けて、認知症サポーターのステップアップ研修を実施してきたが、令和5年度時点で構築数は11市町であった。今後は、アドバイザーを派遣し、構築に向けた課題抽出や研修カリキュラム立案等のサポートを行う伴走型支援を推進する。				
			認知症アセスメント力向上研修実施回数 [回]	目標値 6 実績値 6 達成率 100.0%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 9,031 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 7,120 (7,120)									